

建具の開閉力試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

建具(ドアセットおよびサッシ)の戸の開閉に要する力を確認、または測定する試験です。

開閉力とは

戸を開くまたは閉じる時に戸を移動させるのに要する力です。

戸に開閉力を作用させる試験方法にはプッシュプルゲージなどの荷重計を介して人力で載荷する方法やおもりを用いて載荷する方法があります。



プッシュプルゲージによる開閉力確認

どのような場合に必要か？

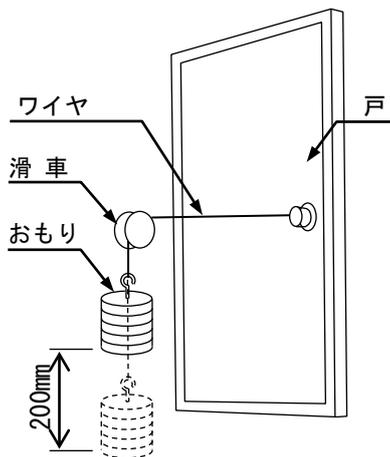
JIS A 4702 「ドアセット」および JIS A 4706 「サッシ」では、性能項目として開閉力を下表のように規定し、JIS A 1519 「建具の開閉力試験方法」によって試験を行なうことが規定されています。さらに、その他の開閉繰り返し試験等の試験の前後でも開閉力試験を行なうことが規定されています。

性能項目	載荷荷重	性 能
開閉力	50N	戸が円滑に開かなければならない。 また、戸が円滑に閉じなければならぬ。

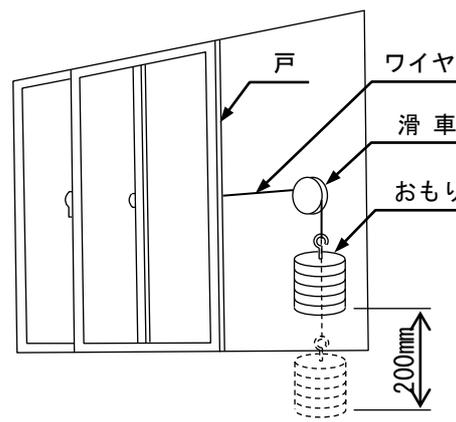
開閉力確認試験・開閉力測定試験(JIS A 1519)

JIS A 1519 「建具の開閉力試験方法」では、下図に示すように、おもりを用いて戸に載荷します。

- ・ 開閉力確認試験 : おもりによって 50N の荷重 を加え、戸が開閉することを確認します。
- ・ 開閉力測定試験 : おもりによる荷重を 1N ずつ増加させ、戸が開閉する 最小の力 を測定します。



ドアセット(スイング)の場合



サッシ(スライディング)の場合

- 【関連規格】 JIS A 4702 「ドアセット」
 JIS A 4706 「サッシ」
 JIS A 1519 「建具の開閉力試験方法」

【試験体】 ドアセット, サッシ